

科目ナンバリング		U-SCI00 45401 GJ58				
授業科目名 <英訳>	地球惑星科学課題研究 T 2 Special study course II(Earth & Planetary Sciences) T2		担当者所属・ 職名・氏名	理学研究科	教授	向川 均
				理学研究科	教授	石岡 圭一
			理学研究科	准教授	重 尚一	
			理学研究科	教授	吉川 裕	
			理学研究科	教授	大沢 信二	
			理学研究科	准教授	坂崎 貴俊	
			理学研究科	准教授	坂本 圭	
配当学年	4回生以上	単位数	12	開講年度・開講期	2025・通年集中	
曜時限	集中講義	授業形態	卒業研究(対面授業科目)	使用言語	日本語	
科目番号	5401					
【授業の概要・目的】						
地球や惑星の大気圏や水圏に関する様々なテーマの中から一つを選び、論文講読、理論研究、データ解析、又は数値モデル実験などの方法によって、主体的に研究を行う。						
【到達目標】						
地球惑星科学のうち特に流体圏を対象とした学術分野において、専門的な研究手法を会得し、地球惑星科学の研究のための基礎・応用力を養う。						
【授業計画と内容】						
具体的な課題として以下のような例が挙げられる。本人の興味やこれまでの学習に応じて、これらをはじめとする大気圏・水圏に関連したテーマから一つを選び、担当教員の指導の下、1年間をかけてそのテーマに沿った学習と研究を行う。研究テーマに対応するセミナーに出席して年数回の発表を行うと共に、年度末には研究成果の最終報告(口頭発表とレポート提出)を行う。						
課題例：大気や海洋の循環(全球規模大循環～数百mの局地循環)、大気や海洋の波動(ロスビー波、ケルビン波、重力波)、不安定現象(鉛直・水平対流、順圧・傾圧不安定)、大気や海洋の乱流、流れや波による運動量・エネルギー・物質輸送、大気や海洋の境界層とそこでの諸物理量の交換過程、大気や海洋のデータ同化、降水現象、気象・気候変動と予測、海流や潮流、海洋深層水の形成と深層循環、地下水の流れと熱および物質の輸送						
【履修要件】						
選択する課題研究テーマによる。各テーマの履修前提条件はガイダンスの際に説明する。						
【成績評価の方法・観点】						
セミナーの出席、発表、質疑応答、およびレポートによって総合的に評価する(100点満点)。						
----- 地球惑星科学課題研究 T 2 (2)へ続く -----						

地球惑星科学課題研究Ⅰ 2 (2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

(関連URL)

<http://www.kugi.kyoto-u.ac.jp/education/undergraduate/research/index.html>(課題研究の説明会資料、過去の課題研究等)

[授業外学修(予習・復習)等]

各テーマ毎に指示される。

(その他(オフィスアワー等))

質問等は研究実施中に随時行うこと

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。